

## 2020ちばおもてなし隊 アンケート調査結果について

2015年3月

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば

このアンケート調査は、平成26年10月2日に開催した2020ちばおもてなし隊フェスタ第1回企画会議の席で、参加された皆さんから高校生たちのボランティア活動の実態を知りたいとのご意見があり、千葉県高等学校長協会のご協力を頂き、平成26年11月に実施したものです。

調査対象は191校、うち回答を頂いたのは67校（35.1%）でした。集計結果は次ページ以降に記載してありますが、特徴的なことは次のとおりでした。

- 回答のあったなかで8割以上の学校がボランティア活動に参加
  - ・ 問1のボランティア部等と、問3の部活動などで行うボランティア活動を合わせると、回答校67校のうち83.6%となる56校が地域との関わりながらボランティア活動を行っている
- ボランティア活動や地域の皆さんと連携して行う活動を含めると9割以上の学校が地域と関わる
  - ・ 問1、問3で調査したボランティア活動に加え、問4の地域との関わりを加えるとそのいずれか又はすべてに該当する学校は回答のあった67校のうち91.0%となる61校
- 国際交流の中で日本文化の紹介などに取組むのは約3割の20校

問7では「おもてなし隊」のような活動への参加の意向や、課題・問題点についてお聞きしましたが、その結果は次のとおりでした。

- おもてなし隊への参加の意向については「要請があれば参加してみたい」、「条件等が会えば取組みたい」と答えた学校が全体の83.5%となる56校
- 他方「どちらかというを取組みたくない」、「取組む考えはない」と答えた学校が15%となる10校
- 課題として挙げたのは多い順に「引率教員の負担増」（48校、71.6%）、「旅費の負担」（42校、62.7%）、「生徒の負担増」（33校、49.3%）、「機材・楽器等の輸送費用」（33校、49.3%）、「言語への対応」（24校、35.8%）など

## 2020ちばおもてなし隊 アンケート調査 集計表

対象校 191校

回答校 67校 (35.1%)

問1 ボランティア活動を趣旨とする部、同好会の有無

「有り」と回答	39校	58.2%
「無し」と回答	28校	41.8%

問2 活動している部・同好会等の名称及び参加者数

区 分	学校数	参加者	学校平均
ボランティア部 (同好会)	19校	292人	15.4人
JRC (同好会・委員会等)	16校	601人	37.6人
インターアクト部 (同好会)	4校	59人	14.8人
その他 (上記以外の名称)	3校	179人	59.7人

活動している部・同好会等の活動内容について

区 分	学校数	比率
高齢者又は障害者福祉	18校	26.9%
地域活動への参加	31校	46.3%
日頃の練習成果の発表	5校	7.5%
そ の 他	13校	19.4%

問3 ボランティア部等以外の部活動で地域でのボランティア活動を行っている例について

「実施している」と回答	41校	61.2%
「実施していない」と回答	26校	38.8%

実施している学校からの事例紹介 (複数回答)

文科系の部による活動例	44例
運動系の部による活動例	21例
生徒会などによる活動例	17例

主な活動内容

高齢者又は障害者福祉	32例
地域活動への参加	67例
日頃の練習成果の発表	—
そ の 他	2例

問4 部活動で、地域の皆さんと連携して行う地域の伝統文化継承や日頃の活動成果の発表等

「実施している」と回答	37校	55.2%
「実施していない」と回答	30校	44.8%

実施している学校からの事例紹介（複数回答）

文科系の部による活動例	64例
運動系の部による活動例	1例
生徒会などによる活動例	5例

主な実施の内容

地元の行事・イベントへの参加と作品発表・演奏など	63例
部活動の特性を活かした教室・講座の開催や交流会など	5例
地域の伝統行事への参加（運営の補助を含む）	2例

問5 日本を訪れた外国人や海外（姉妹校その他）を主な対象とした日本文化紹介や千葉の紹介などについて

「実施している」と回答	20校	29.9%
「実施していない」と回答	47校	70.1%

実施している学校からの事例紹介（複数回答）

文科系の部による活動例	4例
運動系の部による活動例	—
生徒会などによる活動例	20例

主な実施の内容

高校生の受入れ・派遣などの機会を通じた文化紹介など	18例
部活動での相互交流	2例
施設・地域での文化紹介や国際交流イベントへの参加	3例
海外との共同研究による交流	1例

問6 部活動などで、学校や地域の紹介などでユニークな取組み（例えばマンガや動画、画像などを活用した学校や地域の紹介、ツイッターやフェイスブック、ブログなどを活用した学校や地域の紹介等）について

「実施している」と回答	7校	10.4%
その他の回答	60校	89.6%

※ その他の回答には「実施していない」の他「ホームページによる活動紹介」を含めました。

実施している学校からの事例紹介

文科系の部による活動例	3例
学校全体での取組み例	7例

主な実施の内容

学校・地域紹介の映像作成など	3例
地域と連携した特色ある取組みなど	7例

問7 各学校で行っている部活動等を活用した「おもてなし」、「千葉の魅力発信」への考え方について

- (1) 「2020ちばおもてなし隊」のような部活動等を活用して千葉を訪れる外国人その他の方への「おもてなし」、「魅力発信」について（複数回答）

ア 要請があれば積極的に取組みたい	7校	10.4%
イ 条件等があれば取組みたい	49校	73.1%
ウ どちらかというを取組みたくない	4校	6.0%
エ 取組む考えはない	6校	9.0%
オ さらに事業の詳細を知りたい	4校	6.0%

- (2) 2020ちばおもてなし隊のような活動に参加する場合の課題や問題点と思われることについて（複数回答）

ア 生徒の負担増	33校	49.3%
イ 引率教師の負担増	48校	71.6%
ウ 言語への対応	24校	35.8%
エ 活動内容についてのサポート	12校	17.9%
オ 機材・楽器等の輸送費用	33校	49.3%
カ 旅費の負担	42校	62.7%
キ 情報提供	2校	3.0%
ク 教育課程との整合性	10校	14.9%
ケ その他	11校	16.4%